



間違いやすい解の配置の注意

No. 1

2 次方程式  $x^2 + ax + b = 0$  について、次の場合の  $a, b$  に関する条件を求めよ。

- (1)  $1 < x < 2$  の範囲にただ 1 つの解をもつ場合.
- (2)  $1 \leq x \leq 2$  の範囲にただ 1 つの解をもつ場合.

■よくある誤答  $f(x) = x^2 + ax + b$  において、

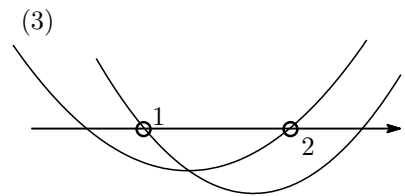
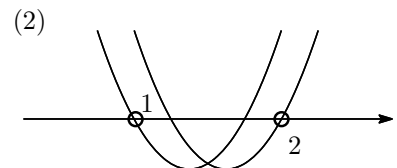
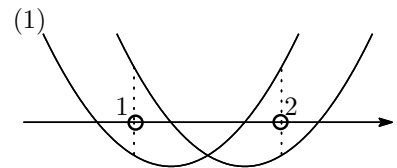
- (1) 「 $f(1) > 0$  かつ  $f(2) < 0$ 」 または 「 $f(1) > 0$  かつ  $f(2) < 0$ 」  $\iff f(1) \cdot f(2) < 0$
- (2) 「 $f(1) \geq 0$  かつ  $f(2) \leq 0$ 」 または 「 $f(1) \leq 0$  かつ  $f(2) \geq 0$ 」  $\iff f(1) \cdot f(2) \leq 0$

【(1) の解説】

図 (1) を見て、 $f(1) \cdot f(2) < 0$  を解としたのでは、図 (2) の場合が含まれない。かと言って、図 (2) を含めようとして、 $f(1) \cdot f(2) \leq 0$  としたのでは、正しくない図 (3) が含まれてしまう。

$f(1) \cdot f(2) < 0$  は、「1 つの解が 1 と 2 の間で、他の解が 1 より小か 2 より大」を意味する。したがって、正確には「 $f(1) \cdot f(2) < 0$ 」の他に「 $f(1) = 0$  または  $f(2) = 0$ 」の場合を別に考察する必要がある。

【(1) の正しい解】 2 次方程式の 2 つの解を「1 と  $\alpha$ 」または「2 と  $\beta$ 」とすると解と係数の関係より「 $1 \cdot \alpha = b$ 」または「 $2 \cdot \beta = b$ 」であることに注意して、



$$(1) \iff f(1) \cdot f(2) < 0 \quad \text{or} \quad \begin{cases} f(1) = 0 \\ 1 < \alpha < 2 \end{cases} \quad \text{or} \quad \begin{cases} f(2) = 0 \\ 1 < \beta < 2 \end{cases}$$

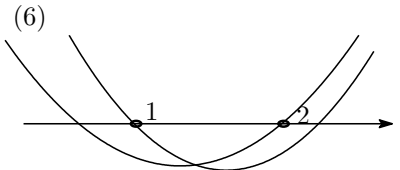
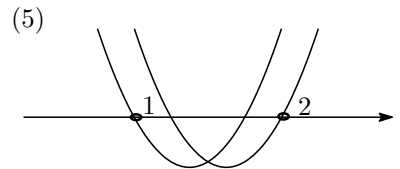
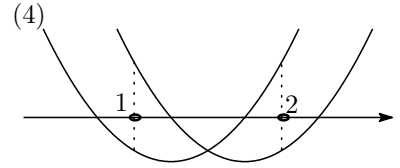
$$\iff (1 + a + b)(4 + 2a + b) < 0 \quad \text{or} \quad \begin{cases} 1 + a + b = 0 \\ 1 < b < 2 \end{cases} \quad \text{or} \quad \begin{cases} 4 + 2a + b = 0 \\ 1 < \frac{b}{2} < 2 \end{cases}$$



【(2) の解説】

図 (4) を見て、感覚的に  $f(1) \cdot f(2) \leq 0$  を解としたのでは、図 (5) の場合が含まれ、閉区間に 2 つの解を持つことになり正しくない。かと言って、図 (5) を排除しようと、 $f(1) \cdot f(2) < 0$  としたのでは、正しい図 (6) の場合が抜けてしまうことになる。

$f(1) \cdot f(2) < 0$  は、「1 つの解が 1 と 2 の間で、他の解が 1 より小か 2 より大」を意味し、図 (4) の場合のみを含む。したがって、正確には「 $f(1) \cdot f(2) < 0$ 」の他に「 $f(1) = 0$  または  $f(2) = 0$ 」の場合を別に考察する必要がある。



【(2) の正しい解】 2 次方程式の 2 つの解を「1 と  $\alpha$ 」または「2 と  $\beta$ 」とすると解と係数の関係より「 $1 \cdot \alpha = b$ 」または「 $2 \cdot \beta = b$ 」であることに注意して、

$$\begin{aligned}
 (2) &\iff f(1) \cdot f(2) < 0 && \text{or} && \begin{cases} f(1) = 0 \\ \alpha < 1 \text{ or } 2 < \alpha \end{cases} && \text{or} && \begin{cases} f(2) = 0 \\ \beta < 1 \text{ or } 2 < \beta \end{cases} \\
 &\iff (1+a+b)(4+2a+b) < 0 && \text{or} && \begin{cases} 1+a+b = 0 \\ b < 1 \text{ or } 2 < b \end{cases} && \text{or} && \begin{cases} 4+2a+b = 0 \\ \frac{b}{2} < 1 \text{ or } 2 < \frac{b}{2} \end{cases}
 \end{aligned}$$

以上をまとめて次の解を得る。

